

## 【 SQL Developer 】

### インストール操作 および必要オブジェクト等の作成作業

#### 作業項目

1. デバッグ用の SQL Developer ツールのインストール作業
2. ユーザーへのデバッグ権限の付与
3. ユーザーへの autotrace 機能使用のための権限の付与
4. デバッグ時の実行計画の調査のための保存テーブル作成  
(デバッグを行うユーザー毎に必要)
5. 使用するデータベースへの接続を行う

#### 1. デバッグ用の SQL Developer ツールのインストール

1. Oracle の Web サイトから、SQL Developer ツールをダウンロードする
2. ZIP ファイルを解凍する
3. sqldeveloper.exe を実行して、インストールする  
デフォルト インストール先 : %ORACLE\_HOME%\SQL\_Developer フォルダ
4. 初回起動時に「Enter the full pathname for java.exe」のメッセージ・ボックスが表示され、Java.exe がインストールされているフォルダを尋ねてくるので、Browse ボタンを使って指定する  
※ ディレクトリを指定しても認められず、起動できない  
→ ~~JDK (Java Developer Kit) がインストールされているフォルダを指定~~  
~~未インストールならば、インストールする~~  
OracleD/B、もしくは、Oracle Client がインストールされたフォルダの中にある java.exe のフォルダパスを指定する  
D:\Oracle\_Client\product\11.2.0\client\_1\jdk\bin\java.exe

#### 2. デバッグのための権限設定

デバッグ・ツールを使うためには、接続するユーザーに対して、debug any procedure、debug connect session が必要となる

特権ユーザーにて、GRANT 権限 TO ユーザーにて付与する。

```
GRANT debug any procedure, debug connect session TO ユーザー ;
```

#### 3. 実行の実績統計トレース取得のための権限設定

実績統計のトレース情報を取得するためには、接続するユーザーに対して、plustrace、select\_catalog\_role ロールが必要となる

特権ユーザーにて、GRANT "ロール" TO ユーザーにて付与する。

※ ロールを指定する場合だけ、ロール名をダブルクォーテーション (") で囲む必要がある

```
GRANT "plustrace", "select_catalog_role" TO ユーザー ;
```

4. 実験計画の保存用テーブルを作成する  
(デバッグを行うユーザー毎に必要)

1. デバッグするユーザーにて接続する
2. テーブル作成用スクリプトを実行する

sqlplus ユーザー/パスワード@接続記述子 @utlxplan.sql  
スクリプトは、%ORACLE\_HOME%\rdbms\admin フォルダにある

例) sqlplus kozue/OraTest@oraconn  
@%ORACLE\_HOME%\rdbms\admin\utlxplan.sql

5. 使用するデータベースへの接続を行う

1. 接続設定を行う

操作方法

【データベースへの接続】

「メイン・メニュー」のファイル (File) → New を選択する

「New Gallery」画面が開くので

Filter : Available Items   ▾	
Categories : └ Database Tier	Items : Database Connection

を選択して、OK ボタンをクリックする

「New / Select Database Connection」画面が開くので

接続する Oracle データベースの情報を入力して OK ボタンをクリックします  
もしくは、

オブジェクト選択画面部 (ナビゲーション・ウィンドウ) の「Connections」を右クリック → 「New Connection」

Connection Name、Username、Password、ConnectionType (BASIC or SYSDBA)、  
Hostname (サーバーIP アドレス)、Port (Listener の待ちポート番号)、SID (オ  
ラクルインスタンスの SID 名) を指定します

Test ボタン : 接続できるかの確認行為の実行

Connect ボタン : Oracle への接続操作の実行

Save ボタン : 設定の保存

データベース接続の作成/選択

接続名	接続詳細
Business2-PC	kozue@//192.

接続名(N) Business2-PC

ユーザー名(U) kozue

パスワード(P) \*\*\*\*\*

パスワードの保存(V)

Oracle Access

ロール(L) default  OS認証

接続タイプ(Y) Basic  Kerberos認証

プロキシ接続

ホスト名(A) 192.168.10.50

ポート(B) 1521

SID(D) orcl

サービス名(E)